

活 力 づ く り

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	1 学術研究機能の発揮による都市活力の創出
施策の将来の目標像	大学や試験研究機関が蓄積してきた知的資産の価値をより高め、優れた知的資源を様々な分野で一層活かしていくことで、イノベーションや地域連携により多くの社会課題を解決するような活力あふれる都市となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値(H30年度)	目標値(R6年度)
	4 大学との連携事業数	129 件	145 件

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 大学等の知的資源を活かしたイノベーションの創出環境の充実	主管部局・所属	政策企画部	政策推進監
関係部局・所属				

3 目指す姿と戦略

目指す姿	大学の知を社会につなぐイノベーション・エコシステムの構築	現状	大学と市が一体となったまちづくり推進体制の強化が必要	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	大学の特色を活かした地域社会課題解決に向けた取組	イノベーションの創出に向けた仕掛けやハブ（拠点）づくり	高	1
	大学と地域の一体的なグローバル化推進に向けた取組	次世代型学園都市づくり構想の検討	低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) Town&Gownの取組を通じたプロジェクト、共同研究の数	7 (R2)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	7	9	10	11 (R6)	件
(4)	()					()	
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R3 年度	当初予算額		決算額		人件費(千円)
		一般財源		一般財源		
		52,845				
		33,018				
	R2 年度	539,000				
		39,000				

6 戦略を構成する事務事業

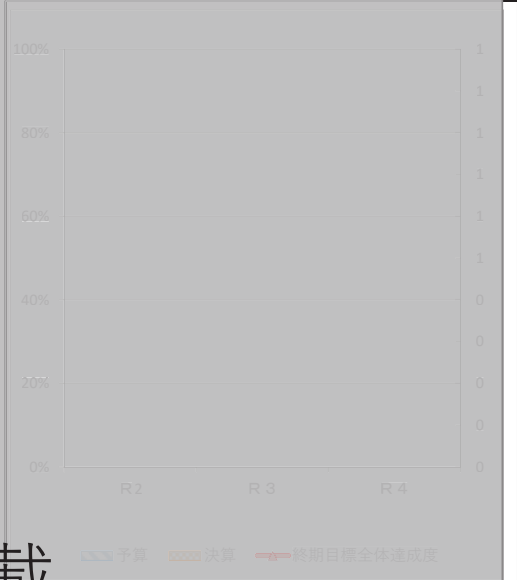
(単位:千円)

No.	款項目__事務事業	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	2.1.7_Town&Gown推進事業	政策推進監	1.0	539,000	37,500
2-1	2.1.7_次世代型学園都市づくり事業	政策推進監	0.6	0	15,345
			1.6	539,000	52,845

7 成果指標の分析

達成率		
-----	--	--

<事業費・終期目標全体達成度の推移>



8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
取組の目的	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
投入資源	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

決算時記載

9 総合評価

総合評価	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> </div>	<理由>
------	--	------

10 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
○	→
○	→
○	→
○	→

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	学術研究機能の発揮による都市活力の創出	大学等の知的資源を活かしたイノベーションの創出環境の充実

事業の概要

1 イノベーションの創出に向けた仕掛けやハブ(拠点)づくり

(37,500 千円(前年度 539,000 千円))

(1)Town&Gown の推進 (37,500 千円(前年度 539,000 千円))

大学と市が共同で地域社会における課題の解決に取り組むため、広島大学内に Town &Gown Office を設置し、大学との研究推進体制・機能の充実強化を行うほか、新たなイノベーションや、世界から起業家や研究者たちが集まる持続可能なまちづくりに資する事業を展開する。

※Town&Gown・・・タウン（街）とガウン（学生や教員）が一体となったまちづくりや、地域社会における課題の解決等を目指すもの。



Town &Gown Office ロゴ

【拡】①Town&Gown Office の運営及び活動プロジェクトへの支援

(12,000 千円(前年度 9,000 千円))

大学と一体となったまちづくりマネジメントを推進するため、広島大学と共同で Town&Gown Office の運営及び地域社会の課題解決に向けた活動プロジェクトへの支援を行う。

【Town&Gown Office 活動プロジェクト】

ア 共同業務の日常化(COMMON プロジェクト)

- ・市職員と大学（教員及び学生）が日常的に意見交換を行う場の設定
- ・市の業務と大学教員の研究テーマや講義内容等とのマッチング
- ・地域課題解決に向けた調査・研究（共同研究）
- ・課題解決のための新モデル（東広島モデル）としての展開

イ エビデンスに基づく政策・行政

- ・「政策の基本的な枠組み」を証拠（エビデンス）に基づいて明確化（モデル事業の提案、分析）

ウ 外国人との共生モデルタウンの形成とグローバル教育産業の誘致

- ・国際化・グローバル化を踏まえた共生モデル等に係る調査研究

エ アントレプレナーのエコシステム形成、イノベーション人材の育成・支援

- ・スマート町家プロジェクトの推進（学生の活動拠点となる場づくり）
- ・市提案のフィールドワーク講義（広島大学教養教育科目）の開講

②大学連携政策課題共同研究（15,000 千円(前年度 30,000 千円)）

ア 行政課題解決型共同研究の実施

市内大学の知的・人的資源を活用し、行政課題の解決や重点施策の推進に向けた共同研究を行う。

③国際的研究拠点東広島の形成に向けた取組み（500 千円(前年度 500,000 千円)）

ア 国際交流拠点施設を活用した連携

国際的研究拠点東広島の形成に向けた取組みの一つである国際交流拠点施設（令和3年9月末完成予定）を起点として、大学との連携により、学生・留学生や研究者との交流促進事業等を行う。

【新】(ア)まちづくり学生発表・交流会の開催

学生と地域住民との交流促進を目的に、広島大学マスターズと連携し、まちづくりや地域課題をテーマとした、学生（留学生）の発表・交流会を国際交流拠点施設にて開催する。

【拡】④学生の活動拠点の形成（10,000 千円(前年度 0 千円)）

Town&Gown Office の4つの活動プロジェクトのうち、「アントレプレナーのエコシステム形成、イノベーション人材の育成・支援」における、基盤構築の事業として、学生の活動拠点づくりやアントレプレナー教育等の研究事業を行う。

ア スマート町家プロジェクト

まちなかの特徴的な空き家（伝統的な建築物としての町家）を実証フィールドとして活用し、学生の活動拠点施設及び実践的な教育・研究の場として再生するプロジェクトを、大学（教員及び学生）・地域・市等が協働して行うとともに、このプロジェクトの過程を通じ、大学と連携し、学生のアントレプレナー教育に関する持続可能なプログラム作りを行う。

2 次世代型学園都市づくり構想の検討（15,345 千円(前年度 0 千円)）

【新】(1)次世代型学園都市づくり構想の策定（15,345 千円(前年度 0 千円)）

持続可能な地方都市モデルの実現を目指すため、大学と地域の一体的なグローバル化を進める方策検討、知の循環による新産業の創出及び起業家や研究者が集う環境整備等に必要な機能や検討課題事項の整理等を行う基礎調査と分析を行い、大学、地域のニーズや本市の特性を考慮しながら、広島大学周辺の学園都市建設の基本的な構想を策定する。

【策定に向けた主な基礎調査】

- ・ 形成すべき機能や具体的取組についての検討
 - ・ 必要なハード整備や土地利用に対する検討課題の整理
 - ・ 本市のポテンシャル評価
- 等

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	1 学術研究機能の発揮による都市活力の創出
施策の将来の目標像	大学や試験研究機関が蓄積してきた知的資産の価値をより高め、優れた知的資源を様々な分野で一層活かしていくことで、イノベーションや地域連携により多くの社会課題を解決するような活力あふれる都市となっています。		
施策の数値目標	指標	現状値(H30年度)	目標値(R6年度)
	4 大学との連携事業数	129 件	145 件

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 大学との連携によるまちづくりの推進	主管部局・所属	政策企画部 政策推進監
関係部局・所属			

3 目指す姿と戦略

目指す姿	大学との有機的な連携の促進	現状	まちづくりにおける大学との一層の連携が必要	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
大学の強みを活かした新たな連携体制の構築	大学の特色を活かしたまちづくり		中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 4大学との連携事業数	129 (H30)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	133	136	139	145 (R6)	件
(イ)	()					()	
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	年度	当初予算額		決算額		人件費(千円)
		一般財源		一般財源		
	R3 年度	5,620				
		2,658				
	R2 年度	5,017				
		5,017				

6 戦略を構成する事務事業

(単位:千円)

No.	款項目_事務事業	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	2.1.7_大学連携推進事業	政策推進監	0.4	5,017	5,620
			0.4	5,017	5,620

7 成果指標の分析

達成率

8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
目的達成度	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
効果達成度	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外部環境	外的な要因による影響はあったのか。	

9 総合評価

総合評価

<理由>

<事業費・終期目標全体達成度の推移>

10 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

決算時記載

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	学術研究機能の発揮による都市活力の創出	大学との連携によるまちづくりの推進

事業の概要

1 大学の特色を活かしたまちづくり (5,620 千円(前年度 5,017 千円))

(1) 大学との連携事業の推進 (5,620 千円(前年度 5,017 千円))

大学との連携による魅力あるまちづくりを進めるため、大学の特色づくり、魅力づくりを支援するなど、より強力な戦略的パートナーシップを構築しながら大学との連携事業を推進する。

①学長懇談会の実施 (24 千円(前年度 24 千円))

本市と市内4大学が相互間のパートナーシップの強化を推進するため、トップミーティングを行う。

②大学との連携体制の構築 (1,450 千円(前年度 600 千円))

【新】ア 近畿大学工学部との連携

近畿大学工学部と大学の特色に応じた新たな連携体制を構築し、ともに地域社会の課題解決を目指す。

また、新たな連携体制に基づき、地域住民が大学の知見を体験できる機会を創出する。

イ エリザベト音楽大学との連携

エリザベト音楽大学と大学の特色に応じた新たな連携体制を構築し、大学を活かしたまちづくりを推進するため、エリザベト音楽大学が実施するコンサートに係る費用を補助する。(補助率：10/10 以内)

・エリザベト音楽大学親子コンサート (年1回)

内容：0歳児から親子で一緒に楽しめる参加型コンサート

場所：東広島芸術文化ホールくらら

【拡】・東広島市立美術館との連携によるコンサート実施 (年2回程度)

内容：美術館を活かしたコンサート (ロビーコンサート等)

場所：東広島市立美術館



エリザベト音楽大学親子コンサート

事業の概要

③学会等の開催支援（3,400千円(前年度 3,400千円)）

地域の学術の振興及び本市の知名度の向上を図るため、関係機関と連携し、市内で開催される学会等への支援を行う。

ア 学術振興等補助金(学術振興事業)

東広島市内で開催される学会等の開催に係る費用を補助する。

補助率：10/10以内（上限額：100千円）

イ 学術振興等補助金(貸切バス等運行支援事業)

学会参加者等の円滑な移動のために使用する貸切バス等の借上げに係る費用を補助する。

補助率：10/10以内（上限額：200千円）



市内で開催される学会の様子

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	2 多様な豊かな市民の力が輝くまちづくり
施策の将来の目標像	国内外から様々な人材が集まり、それぞれの多様性を活かしながら、あらゆる場面で活躍をしています。また、転出者を含め、市外に暮らす方々も、東広島市に愛着を持ち、何らかの関わりを持ちながら本市の活力づくりに寄与しています。		
施策の数値目標	指標	現状値	目標値(R6年度)
	市がコーディネートした学生の地域活動件数(年間)	24件(H30年度)	30 件
	人口の社会増加数	364人/年 (H22~30年度の平均)	400人/年

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 多様な人材力が発揮できる環境の充実	主管部局・所属	政策企画部	政策推進監
関係部局・所属				

3 目指す姿と戦略

目指す姿	学生の地域活動の促進	現状	学生をはじめとした人材の力が発揮できる環境が整っていない	
課題	学生が地域を知る機会が少ない 学生と地域との交流・連携が少ない	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
		多様な人材の活躍促進	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 市がコーディネートした学生の地域活動件数(年間)	24 (H30)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	26	27	28	30 (R6)	件
(イ)	()					()	
(ロ)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費(千円)	年度	当初予算額		決算額		人件費(千円)
		一般財源		一般財源		
	R3 年度		13,875			
			13,875			
	R2 年度		13,616			
			13,616			

6 戦略を構成する事務事業

(単位:千円)

No.	款項目_事務事業	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	2.1.7_学生の地域交流連携促進事業	政策推進監	0.4	13,616	13,875
			0.4	13,616	13,875

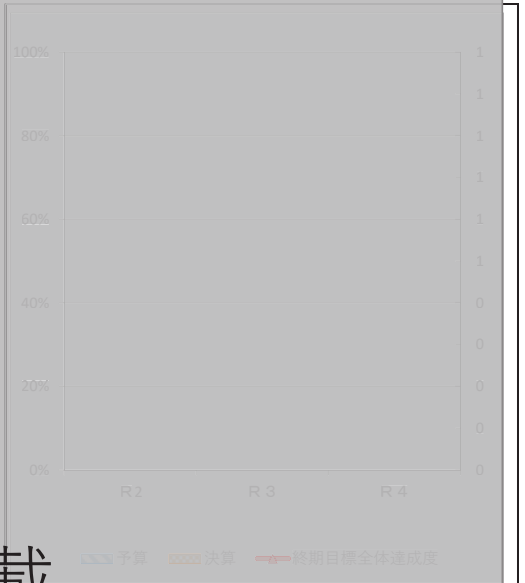
7 成果指標の分析

達成率		
-----	--	--

8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
目的	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
手段	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外部環境	外的な要因による影響はあったのか。	

<事業費・終期目標全体達成度の推移>



決算時記載

9 総合評価

総合評価	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> □ </div> </div>	<理由>
------	--	------

10 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
○	→
○	→
○	→
○	→

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	多様な豊かな市民の力が輝くまちづくり	多様な人材力が発揮できる環境の充実

事業の概要

1 多様な人材の活躍促進 (13,875 千円(前年度 13,616 千円))

(1) 学生と地域との交流・連携の促進(13,875 千円(前年度 13,616 千円))

① 広島県留学生活躍支援センターの運営費負担 (1,500 千円(前年度 1,500 千円))

留学生の受入促進や生活・就職支援を一元的に行う広島県留学生活躍支援センターの活動を通じて、留学生の受入促進及び生活・就職を支援する。

※会員：大学、短期大学及び高等専門学校、日本語専門学校、
行政機関、経済団体及び国際交流団体

市内留学生の推移 (単位:人)

H28	H29	H30	R1	R2
1,073	1,253	1,494	1,680	1,766

※住民基本台帳在留資格が「留学」であるもの(各年3月末の人数)



就職活動実践セミナー (東広島会場)

② 学園都市づくり交流会議の運営 (12,375 千円(前年度 12,116 千円))

大学と地域との交流を通じて、相互理解と親睦を深め、大学の地域への定着を促進し、文化の薫り高い学園都市づくりに寄与するため、大学、市、関係機関で組織する学園都市づくり交流会議を運営する。

※構成団体

広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学、東広島市、
東広島商工連絡協議会、広島中央農業協同組合、一般社団法人東広島青年会議所、
東広島市体育協会、東広島市文化連盟、公益財団法人東広島市教育文化振興事業団

学生数の推移(市調べ) (単位:百人)

H28	H29	H30	R1	R2
165.6	167.2	168.0	166.8	169.7

※広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学の市内キャンパスにおける学生数

ア 学生の地域活動の促進

大学・学生と地域との交流・連携を促進し、学生の成長や学生の地域への愛着を促進するため、学生が地域での様々な活動や体験が可能となる機会の創出を図るとともに、地域で主体的に活動するための支援を行う。

(ア) 地域体験ツアーの実施

学生が地域や地域活動に興味関心を持つきっかけとなる地域体験ツアーを開催する。

(年7回程度)



地域体験ツアー (西条町)



地域体験ツアー (志和町)

事業の概要

(イ)ひがしひろしま学生×地域塾の開催

学生と地域との交流・連携を促進し、地域での活動企画・実践を通して学生の成長を促すとともに、こうした活動をまちの活力につなげていくため、学生が自ら企画し、地域で活動を実践するためのノウハウを学ぶ塾を開催する。

ひがしひろしま学生×地域塾スケジュール

対象	市内大学に在学する学生
要件	東広島市の地域活性化に関心があり、地域活動について企画立案等の実践意欲があること
定員	10 団体等
実施内容 (予定)	4 月～5 月 入塾説明会、参加団体等の募集 6 月頃 企画検討ワークショップ(合宿) 6 月～2 月 企画の検討、ブラッシュアップ及び実践 1 月頃 活動報告会 2 月末頃 卒塾式



活動報告会

(ウ)学生まちづくりラボの実施

市内大学の学生等によるネットワーク構築及び交流促進を行うとともに、学生同士が連携して本市をフィールドにした様々な活動にチャレンジできる場を創出するなど、学生が継続的に地域と関わるための仕掛けづくりを行う。



学生同士の交流・意見交換

【拡】(エ)学生と地域とのコーディネート機能の充実

学生と地域との連携促進を図るため、地域ニーズなどの情報収集・情報発信を行うとともに、地域課題と学生の地域活動のマッチング等を行う。

また、スポーツや文化活動などを通じ、学生と地域のつながりを推進する。

イ 学生の主体的な活動への支援

学生の主体的な地域活動を促進するため、本市をフィールドとした学生活動を支援する。

補助率：10/10 以内（上限額：50 千円）

ウ 大学と地域との融合促進

(ア)地域と大学との交流を促進する活動への支援

本市の学園都市づくりへの市民参画を促すため、大学等が主催する地域と大学の一体感の醸成が期待されるイベントを支援する。

また、大学や学生が開催するイベント等に関する広報支援を行う。

(イ)学生に向けた情報提供の充実

学生の地域活動支援等や暮らしに関する情報提供を行う。

新入生に対し、本市の魅力を伝えるための情報誌の配布を行う。

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	2 多様な市民の力が輝くまちづくり
施策の将来の目標像	国内外から様々な人材が集まり、それぞれの多様性を活かしながら、あらゆる場面で活躍をしています。また、転出者を含め、市外に暮らす方々も、東広島市に愛着を持ち、何らかのかかわりを持ちながら本市の活力づくりに寄与しています。		
施策の数値目標	指標	現状値	目標値(R6年度)
	市がコーディネートした学生の地域活動件数(年間)	24件(H30年度)	30件
	人口の社会増加数	364人/年 (H22~H30年度の平均)	400人/年

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 移住・定住の促進とにぎわいや交流の創出	主管部局・所属	政策企画部 広報戦略課
関係部局・所属	政策企画部	政策推進監	建設部 建設管理課

3 目指す姿と戦略

目指す姿	国内外から様々な人材が集まり、それぞれの多様性を活かしながら本市の活力づくりに寄与する	現状	特に周辺地域において高齢化・人口減少が進み、活力が失われつつある	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	移住検討者に対し地域の魅力を効果的に発信し、多様化するニーズに応じた相談体制を構築すること	周辺地域への移住定住の促進	高	1
	観光資源や特産品などの魅力の発信・提供により、賑わいや消費、交流の起点となる場所を整備すること	市外に暮らす方々と地域との交流や本市の活性化に資する拠点の整備によるにぎわいの創出	低	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	R2	R3	R4	終期目標値 (年度) 達成率	単位
(7) 定住サポートセンターへの移住相談件数	31 (H30)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	40	50	60	80 (R6)	件
(1) 定住サポートセンター相談者の移住世帯数	8 (H30)		20	25	30	40 (R6)	世帯
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R3 年度	当初予算額		決算額		人件費(千円)
		一般財源		一般財源		
		851,331				
		210,331				
	R2 年度	493,326				
		148,334				

6 戦略を構成する事務事業

(単位:千円)

No.	款項目_事務事業	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	2.1.7_移住促進広報事業	広報戦略課	1.0	2,386	4,068
1-2	2.1.7_移住者等支援事業	広報戦略課	1.5	8,360	10,806
1-3	2.1.7_関係人口創出拡大事業	広報戦略課	0.5	0	247
2-1	2.1.7_道の駅整備事業	政策推進監	1.0	477,358	825,986
2-2	8.4.2_港湾沿岸地域再編事業	建設管理課	0.5	5,222	10,224
			4.5	493,326	851,331

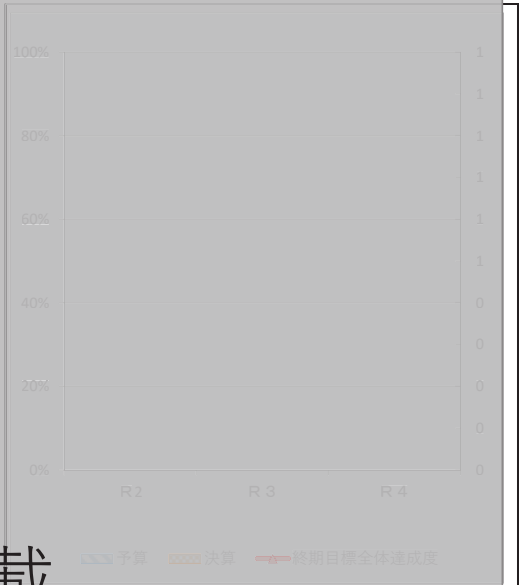
7 成果指標の分析

達成率		
-----	--	--

8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
取組の目的	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
取組の手段	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
取組の環境	外的な要因による影響はあったのか。	

<事業費・終期目標全体達成度の推移>



決算時記載

9 総合評価

総合評価	理由
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	

10 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
○	→
○	→
○	→
○	→

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	多様性豊かな市民の力が輝くまちづくり	移住・定住の促進とにぎわいや交流の創出

事業の概要

- 1 周辺地域への移住定住の促進**（15,121 千円(前年度 10,746 千円)）
- (1)移住促進のための広報活動（4,068 千円(前年度 2,413 千円)）
- ①定住フェア等による移住関連情報の発信(192 千円(前年度 207 千円))
 広島県、広島広域都市圏等と連携し、東京における移住フェアにおいて移住検討者に対し本市の魅力を発信する（6 月と 11 月の 2 回開催予定）
- ②移住特設Webサイトによる移住関連情報の発信(3,876 千円(前年度 2,206 千円))
 移住特設 Web サイトの内容を更新するとともに、より相談しやすい体制整備のための機能（オンライン相談機能等）を付与する
- (2)移住者等の各種支援（10,806 千円(前年度 8,333 千円)）
- ①定住サポートセンターによる総合相談窓口の運営(278 千円(前年度 263 千円))
 移住希望者が求める住まい、しごと、子育てなどの情報提供や相談をワンストップで受け、関係部局と連携し相談内容の解決を図る
- ②移住者等に対する各種補助金の交付(10,528 千円(前年度 8,070 千円))
- 【新】ア 地方創生移住支援金制度を活用した東京圏からの移住支援金の交付(うち 4,400 千円)
 イ 周辺地域への移住者(市内の周辺地域外からの転居者も含む)による創業活動に対する補助金の交付
 ウ 本市での就業・創業活動に係る宿泊費及びレンタカー代金を補助
 エ 広島中央地域連携中枢都市圏において移住準備のための宿泊費に対する補助
- 【新】(3)関係人口を活用した移住促進（247 千円(前年度 0 千円)）
 東京圏に在住する、東広島ゆかりの人物・団体を関係人口とし、本市の魅力発信や、移住検討者のつなぎ役としてそれらの方々との連携体制を築き、東京圏からの移住定住を促進する

事業の概要

2 市外に暮らす方々と地域との交流や本市の活性化に資する拠点の整備によるにぎわいの創出 (836,210 千円(前年度 482,580 千円))

(1)道の駅整備 (825,986 千円(前年度 477,358 千円))

道路利用者に快適な休憩や安らぎを与える場を提供するとともに、市の観光資源や特産品の魅力発信等を行うため、道の駅を一般国道2号西条バイパス沿線に整備する。

名称:道の駅 西条 のん太の酒蔵(公募した名称から選定)

所在地:西条町寺家(一般国道2号西条バイパスと市道前谷磯松線が交差するランプの北東側)

規模:敷地面積約 2.88ha(平地部分)、地域連携施設延床面積約 2,800 m²

駐車台数:大型車両 81 台、小型車両 136 台

整備機能:地域連携施設(直売所、レストラン、フードコート、加工室、多目的室、屋内子ども向け遊戯場、屋根付き広場、授乳室、シャワー施設等)、駐車場、緑地、国施設(トイレ、情報発信施設)

<R3 年度予算額>

・施設整備等(外構等含む) (713,486 千円)

・接続道路拡幅 (112,500 千円)

整備スケジュール

	R2	R3	R4
実施設計			
施設建設			
駐車場舗装工事			
開業準備・開業			

イメージ図



(2) 港湾沿岸地域の再編 (10,224 千円(前年度 5,222 千円))

安芸津駅と安芸津港フェリー乗り場を含む港湾周辺の近接性を活かした拠点機能を向上させるため、係留施設を含む港湾周辺施設のあり方について検討する。

① R2 実施内容

・地域特性の把握、港の問題点・課題の抽出、関係者の意向の把握

② R3 検討内容

・先進事例の調査、港の強み・弱み等の要因分析

・具体的な施策の検討、具現化に向けての条件・課題整理

・実施スケジュールの作成

③ スケジュール

内 容	R2	R3	R4 以降
地域特性、現状把握	→		
具体的な施策検討、課題整理		→	
実施計画 等			→

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	3 都市成長基盤の強化・充実
施策の将来の目標像	東広島市の中心地は、市の玄関口として市内外から人びとが集い、憩い、多様な活動が繰り広げられるエリアとなっています。また、各地域では良好な景観が形成され、市民の郷土への誇りや愛着が育まれています。さらに、企業が活発な研究開発と生産活動を展開できる産業用地が確保され、都市としての活力の源となる新たなビジネスが創出される基盤が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値(R1年度)	目標値(R6年度)
	新たに確保した産業用地の面積 (計画期間累計)	0 ha	10 ha

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① にぎわいと魅力ある都市空間の形成	主管部局・所属	都市部 都市計画課
関係部局・所属	政策企画部	政策推進監	産業部 観光振興課
	産業部	産業振興課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	交通結節点となる西条駅や、特徴的な景観を有する酒蔵地区、ブルバール通り沿いに立地する多様な施設を活かし、魅力ある中心市街地の形成を図る。	現状	中心市街地の人通りが少なく、賑わいや活気がない。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
散策したくなる・歩いて楽しめるコンテンツの不足	中心市街地の賑わい創出		中	1
交流・イベント・スポーツ・文化活動等、多様な用途に活用できる自由度の高い場所が少ない	中心市街地の公有地デザイン		中	2

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 酒蔵地区の観光客数(西条酒蔵通り観光案内所の来訪者数)	34,412 (H28)		39,000	40,300	41,500	41,500 (R4)	人
(イ)	()	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率				()	
(ウ)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R3 年度	当初予算額		決算額		人件費(千円)
		一般財源		一般財源		
			83,778			
			64,878			
	R2 年度		24,948			
			24,948			

6 戦略を構成する事務事業

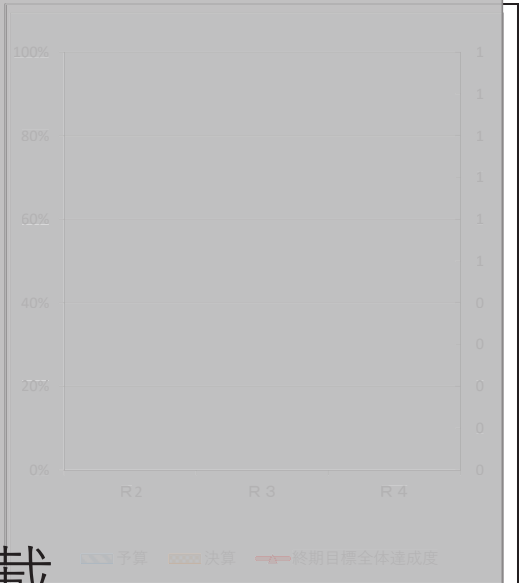
(単位:千円)

No.	款項目_事務事業	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	8.5.1_景観形成事業	都市計画課	3.0	13,889	74,388
2-1	2.1.7_プロジェクト推進事業	政策推進監	1.0	11,059	9,390
			4.0	24,948	83,778

7 成果指標の分析

達成率		
-----	--	--

<事業費・終期目標全体達成度の推移>



8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
取組の目的	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
取組の手段	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
取組の環境	外的な要因による影響はあったのか。	

決算時記載

9 総合評価

総合評価	理由

10 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	都市成長基盤の強化・充実	にぎわいと魅力ある都市空間の形成

事業の概要

1 中心市街地の賑わい創出 (74,388 千円(前年度 13,889 千円))

(1) 景観を活かしたまちづくりの推進(74,388 千円(前年度 13,889 千円))

無秩序な土地利用等により、東広島らしい景観が損なわれることが懸念されることから、景観の整備・保全を推進し、地域の活性化や賑わい創出を図る。

①西条本通線の美装化(うち 49,500 千円)

酒蔵地区の街並みと調和した景観保全のため、西条本通線の美装化を進める。



②酒蔵地区の景観形成(うち 4,014 千円)

酒蔵地区における登録文化財や歴史的建造物などについて、景観形成事業補助金により支援を行う。

③白市地区の景観形成(うち 874 千円)

歴史的な街並みが残る白市地区の交流拠点である白市交流会館を管理運営することなどにより、地域の賑わい創出と地域の活力向上を図る。

【新】④賑わい創出のための施策導入の検討 (うち 20,000 千円)

中心市街地の賑わい創出に向け、事例研究や各種施策の試行等の取組みを行う。

ア Park-PFI 導入検討

西条中央公園を対象に、民間事業者等との連携によるキッチンカーの設置など、官民連携事業の実現可能性に関する検討を行う。

事業の概要

イ 歩道空間活用検討

ブルバールの歩道へパークレット（休憩施設など）を試行的に設置し、民間事業者によるオープンカフェ等の運営を促す。

広島市の事例



仙台市の事例



2 中心市街地の公有地デザイン（9,390千円(前年度 11,059千円)）

(1) プロジェクトの推進(9,390千円(前年度 11,059千円))

① 中央生涯学習センター跡地活用プランの策定(9,390千円(前年度 11,059千円))

中心市街地である西条駅前地区にある公有地である中央生涯学習センター跡地について、これまでの検討結果をふまえ、整備規模や手法、事業期間等を整理する。



令和 3 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	3 都市成長基盤の強化・充実
施策の将来の目標像	東広島市の中心地は、市の玄関口として市内外から人びとが集い、憩い、多様な活動が繰り広げられるエリアとなっています。また、各地域では良好な景観が形成され、市民の郷土への誇りや愛着が育まれています。さらに、企業が活発な研究開発と生産活動を展開できる産業用地が確保され、都市としての活力の源となる新たなビジネスが創出される基盤が整っています。		
施策の数値目標	指標	現状値(R1年度)	目標値(R6年度)
	新たに確保した産業用地の面積 (計画期間累計)	0ha	10ha

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 新たな産業基盤の整備	主管部局・所属	産業部	産業振興課
関係部局・所属				

3 目指す姿と戦略

目指す姿	研究開発と生産活動が展開できる産業用地の確保	現状	企業の用地確保ニーズがある	
課題	→	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
企業が立地できる新たな用地が不足している		新たな産業基盤の整備	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 着工予定の産業用地の面積(計画期間累計)	(R1) 0	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	2	4	6	累計10 (R6)	ha
(1) 新たに確保した産業用地の面積(計画期間累計)	(R1) 0		0	0	0	累計10 (R6)	ha
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)		当初予算額		決算額		人件費(千円)
		一般財源		一般財源		
	R3 年度	118,500				
		91,500				
	R2 年度	51,000				
		26,000				

6 戦略を構成する事務事業

(単位:千円)

No.	款項目_事務事業	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	7.1.3_産業用地環境整備事業	産業振興課	2.0	51,000	118,500
			2.0	51,000	118,500

7 成果指標の分析

達成率

8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
目的	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
効果	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外部環境	外的な要因による影響はあったのか。	

9 総合評価

総合評価

理由

<事業費・終期目標全体達成度の推移>

10 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

決算時記載

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	都市成長基盤の強化・充実	新たな産業基盤の整備

事業の概要

1 新たな産業基盤の整備 (118,500 千円(前年度 51,000 千円))

(1)産業用地確保の取組み (118,500 千円(前年度 51,000 千円))[県補助金]

【新】①産業基盤の整備に向けた検討 (うち 18,500 千円(前年度 1,000 千円))

産業用地基本計画に基づき、大学や志和 IC 周辺での新たな産業基盤の整備に向けた調査・実証事業等を実施する。

ア 大学周辺において、新たな分野の企業誘致を推進するため、学内や大学周辺において企業の活動の場を提供する実証実験や大学との共同研究を進める企業へのヒアリング調査等を実施する。(6,000 千円)

イ 志和 IC 周辺での産業用地確保にかかる実現可能性を検討するため、現地の調査や関係機関との調整等を実施する。(6,500 千円)

ウ 地域内経済の分析の基礎資料となる産業連関表等を更新や市内9地域別の分析を実施する。(6,000 千円)

【拡】②産業用地開発助成金の交付 (うち 100,000 千円(前年度 50,000 千円))

民間遊休地を活用して新たに設備投資を行う企業に対して支援する。

○制度の概要

対象用地：5,000 m²以上の民間遊休地

対象者：対象用地に、自社で事業を行うための工場等を建設する者

助成額：開発可能性等の調査費用や建物等撤去費用、インフラの整備、敷地内進入路の整備、土地の造成等に係る費用×25%

(上限 5,000 万円) (2 件想定)

※投資実現のための側面的支援として、市内への投資を検討する企業に対して、全庁横断的な支援チームを設定する。

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	4 交通ネットワークの強化
施策の将来の目標像	鉄道や路線バス、広島空港など広域移動も見据えた交通結節機能・広域的な道路ネットワークが強化され、主要拠点間が最適な移動手段で接続されています。日常生活において公共交通の重要性・必要性が広く市民に再認識されています。		
施策の数値目標	指標	現状値(H30年度)	目標値(R6年度)
	国県道整備率	15%	39%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 公共交通ネットワークの強化・充実	主管部局・所属	政策企画部 政策推進監
関係部局・所属	河内支所 地域振興課	安芸津支所	地域振興課
	都市部 都市整備課		

3 目指す姿と戦略

目指す姿	広域移動を見据えた交通結節機能・広域的な道路ネットワークが強化され、主要拠点間が最適な移動手段で接続	現状	高い自動車分担率が続き、公共交通利用が低迷、交通事業収益が悪化	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
都市の拠点性・経済循環を支える交通機能の不足 乗りにくさ（運賃、路線本数）、交通事業者の収益性の悪化	公共交通機能の強靱化による利便性の向上		中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)		目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 1日当たりJR乗車人員	23,617 (H30)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	25,421	25,464	25,508	25,600 (R6)	人
(4)	()					()	
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R3 年度	当初予算額		決算額		人件費(千円)
		一般財源		一般財源		
		925,199				
		245,688				
	R2 年度	644,669				
		219,597				

6 戦略を構成する事務事業

(単位:千円)

No.	款項目_事務事業	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	2.1.7_公共交通網形成事業	政策推進監	1.0	214,320	649,255
1-2	2.1.7_公共交通網形成事業(河内支所)	河内支所地域振興課	0.3	15,464	11,820
1-3	2.1.7_公共交通網形成事業(安芸津支所)	安芸津支所地域振興課	2.1	4,646	6,509
1-4	8.5.2_交通結節点改善事業	都市整備課	2.0	410,239	257,615
			5.4	644,669	925,199

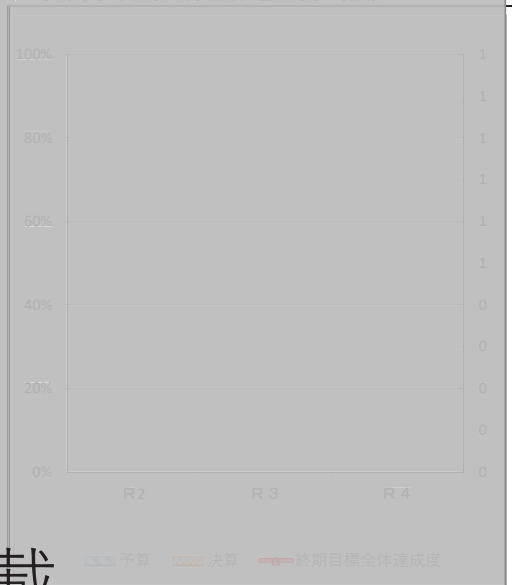
7 成果指標の分析

達成率		
-----	--	--

8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
取組の目的	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
投入資源	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

<事業費・終期目標全体達成度の推移>



決算時記載

9 総合評価

総合評価	理由

10 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	交通ネットワークの強化	公共交通ネットワークの強化・充実

事業の概要

1 公共交通機能の強靱化による利便性の向上 (925,199 千円(前年度 644,669 千円))

(1)公共交通網の形成 (649,255 千円(前年度 214,320 千円))

①交通結節機能の強化と空港対策 (421,843 千円(前年度 63,867 千円))

【拡】ア バス交通結節点の整備

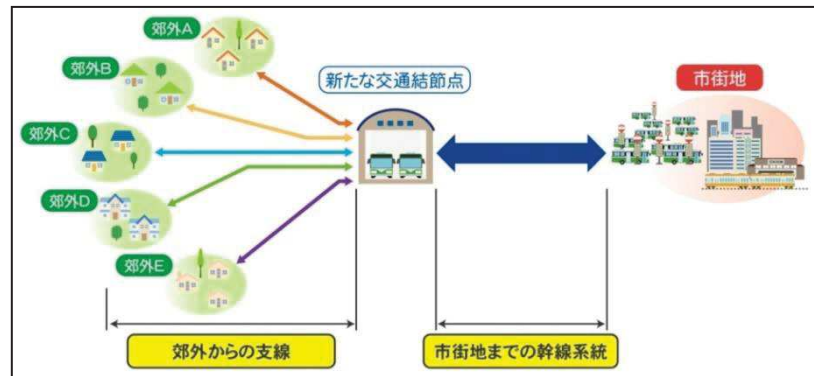
利便性と路線再編による運行効率の向上を図るため、バス交通結節点の整備を行う。

(ア)広島大学(中央口、大学会館前)

造成工事、建築設計

(イ)黒瀬兼広地区

用地取得



イ 空港対策(広島空港整備事業負担金)

県、隣接自治体と連携を図り、広島空港の利便性向上とアクセス機能の強化等空港事業の活性化を推進する。

ウ 海路対策

安芸津港～大西港(大崎上島町)運航に係る支援を行う。

②鉄道輸送の強化と市街地の賑わいを促進する交通対策

(13,554 千円(前年度 20,160 千円))

ア JR駅の環境向上

本市の玄関口である寺家駅の待合環境と快適性の向上を図るため、適正な管理を行う。

③バス交通の維持・強化 (213,858 千円(前年度 130,293 千円))

ア 市内路線バス運行経費に対する支援

本市の移動の骨格である幹線交通を支えるため、路線バス交通事業の維持・強化を図る。

(2)公共交通網の形成(河内支所)(11,820 千円(前年度 15,464 千円))

①広島空港周辺対策 (11,820 千円(前年度 15,464 千円))

ア 広島空港周辺対策

空港周辺環境の配慮を講じるため、県と連携を図り、周辺地域の住宅への空調対策、道路等安全対策・周辺環境保全、公共施設を活用した地域振興策を進める。

(3)公共交通網の形成(安芸津支所)(6,509 千円(前年度 4,646 千円))

①JR安芸津駅の維持管理 (6,509 千円(前年度 4,646 千円))

ア JR安芸津駅の維持管理

本市の玄関口である J R 駅の待合環境と快適性の向上を図るため、適正な管理を行う。

(4)駅周辺の交通結節点の改善 (257,615 千円(前年度 410,239 千円))

住民や近隣教育機関の学生・生徒が多く利用する西高屋駅舎の橋上化に合わせ、公衆トイレや情報ラウンジ等の整備を行い西高屋駅周辺地区の賑わいや活力の創造を図る。

①西高屋駅の機能強化のための南北自由通路や駅前広場等の整備

(257,615 千円(前年度 410,239 千円))

南北自由通路や駅前広場等の整備により、駅へのアクセス性向上及びバリアフリー化を図るとともに、交通結節点機能の改善を行う。

	R3	R4	R5
(西高屋駅周辺地区都市再生整備計画)			
・西高屋駅南北自由通路 延長 110m、幅員 4m	JR 委託	JR 委託	JR 委託
・西高屋駅北口広場(面積約 4,200 m ²)	用地取得	用地取得	用地取得
・西高屋駅橋上化及び公衆トイレ、情報ラウンジ等	物件補償 工事	物件補償 工事	物件補償 工事

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活力づくり	施策	4 交通ネットワークの強化
施策の将来の目標像	鉄道や路線バス、広島空港など広域移動も見据えた交通結節点機能・広域的な道路ネットワークが強化され、主要拠点間が最適な移動手段で接続されています。日常生活において公共交通の重要性・必要性が広く市民に再認識されています。		
施策の数値目標	指標	現状値(H30年度)	目標値(R6年度)
	国県道路整備率	15%	39%

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	② 高規格幹線道路及び幹線道路交通網の整備	主管部局・所属	都市部	都市計画課 広域事業推進室
関係部局・所属				

3 目指す姿と戦略

目指す姿	東広島市の慢性的な交通渋滞の解消を図り、産業活動や広域連携の強化につながる幹線道路交通網を形成する。	現状	市中心部の拠点性の高まりにより、交通量が増加し、慢性的渋滞が発生している。慢性的渋滞により、広域利便性を活かした産業活動や広域連携に支障が出ている。	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	高規格幹線道路網及び幹線道路網の整備が遅れている。	国・県幹線道路整備の取組み	中	1

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 国県道路整備率	15 (H30)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	15	15	15	39 (R6)	%
(4)	()					()	
(4)	()					()	

5 コスト情報

目的別事業群 事業費 (千円)	R3 年度	当初予算額		決算額		人件費(千円)
		一般財源		一般財源		
	R3 年度	58,769				
		30,169				
	R2 年度	35,258				
		16,158				

6 戦略を構成する事務事業

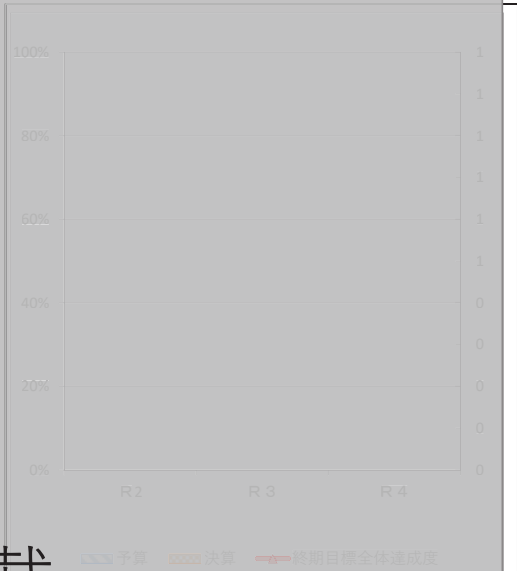
(単位:千円)

No.	款項目_事務事業	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	8.5.1_国・県幹線道路整備事業	都市計画課	2.0	35,258	58,769
			2.0	35,258	58,769

7 成果指標の分析

達成率		
-----	--	--

<事業費・終期目標全体達成度の推移>



8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
目的性	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
効果性	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

決算時記載

9 総合評価

総合評価	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<理由>
------	---	------

10 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
○	・
○	・
○	・
○	・

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	交通ネットワークの強化	高規格幹線道路及び幹線道路交通網の整備

事業の概要

1 国・県幹線道路の取組み（58,769 千円(前年度 35,258 千円)）

(1) 国・県幹線道路の早期整備を推進（58,769 千円(前年度 35,258 千円)）

慢性的な交通渋滞を解消し、産業活動や広域連携の強化を図るため、広域的な道路ネットワークとなる幹線道路の整備促進を図る。

① 幹線道路整備の推進

幹線道路の整備を推進する道路の期成同盟会の活動費を負担する。

② 広島県が整備する幹線道路事業の促進

広島県が市内で整備する国県道に係る整備費の一部を、広島県条例の規定により負担する。

○ 主な整備箇所

都市計画道路 上寺家下見線

西条西交差点の渋滞を緩和し、国道等の広域ネットワークへのアクセスを改善する。



整備例

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活かづくり	施策	5 環境に配慮した社会システムの構築
施策の将来の目標像	地球規模の環境問題等に対応できる次世代型環境都市の構築が進展し、環境と調和した潤いのある地域が形成されています。また、構築の過程で生み出されたシステムや成果が、市民の暮らしづくりに効果的に活用されています。		
施策の数値目標	指標	現状値(H25年度)	目標値(R6年度)
	市内の温室効果ガス総排出量	2,257.5千t-CO ₂	1,877.7千t-CO ₂

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 環境に配慮した社会システムの構築	主管部局・所属	生活環境部 環境対策課
関係部局・所属	生活環境部	廃棄物対策課	学校教育部 教育総務課
	産業部	農林水産課	学校教育部 指導課
	産業部	産業振興課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	次世代型の環境都市の構築	現状	気候変動に対する緩和と適応、資源循環の取組みが不足している。	
課題	仮説に基づく戦略		寄与度	戦略No.
地域内での資源循環やサーキュラーエコノミーの構築	ゼロエミッションの推進とエネルギーの地産地消		中	1
気候変動の影響緩和と適応	脱炭素化の推進と地域のレジリエンス強化		中	2
目指す将来像の共有と取組みをサポートするシステムづくり	S-TOWNプロジェクトの推進		中	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 温室効果ガス排出量	2,258 (H25) マイナス指標設定	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	2,001	1,964	1,927	1,878 (R6)	千t-CO ₂
(4) COOL CHOICE賛同者数	1,683 (R1)		3,326	3,900	4,500	5,700 (R6)	人
(4) 再生可能エネルギー導入容量	22.1 (R1)		22.7	23.4	24.0	25.3 (R6)	万kW

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	年度	当初予算額		決算額		人件費(千円)
		一般財源		一般財源		
	R3 年度	48,598				
		41,017				
	R2 年度	39,044				
		34,050				

6 戦略を構成する事務事業

(単位:千円)

No.	款項目_事務事業	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	4.1.4_資源循環推進事業	環境対策課	1.0	0	4,367
2-1	4.1.4_脱炭素化等支援事業	環境対策課	1.0	20,700	32,409
3-1	4.1.4_S-TOWNプロジェクト推進事業	環境対策課	2.0	18,344	11,822
			4.0	39,044	48,598

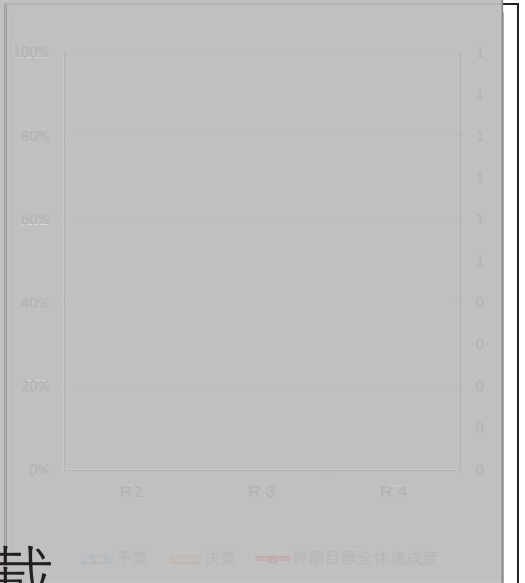
7 成果指標の分析

達成率		
-----	--	--

8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
取組の目的	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
投入資源	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

<事業費・終期目標全体達成度の推移>



決算時記載

9 総合評価

総合評価	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> A </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> B </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> C </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> D </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> E </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> F </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> G </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> H </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> I </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;"> J </div> </div>	<理由>
------	--	------

10 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針
○	・
○	・
○	・
○	・

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	環境に配慮した社会システムの構築	環境に配慮した社会システムの構築

事業の概要

【新】1 ゼロエミッションの推進とエネルギーの地産地消 (4,367 千円(前年度 0 千円))

(1)資源循環の推進 (4,367 千円(前年度 0 千円))

①市民・事業者に対する啓発 (うち 4,367 千円)

ミミズコンポストの活用による地域や事業所単位でのごみ減量化を推進モデルとなる学校や事業所等を募集 (10 か所程度) し、啓発を実施 (資源化促進事業と連携して実施)



②東広島資源循環認定制度の創設

廃棄物を再資源化 (リサイクル) した製品を市が優良認定し、優先的に市の公共事業等に活用する制度を創設

[想定される再資源化製品 (リサイクル品) の例]

- ・市内の食品残渣由来のたい肥・肥料
- ・市内の家庭や事業所から排出されるガラス等を粉砕・焼成処理した軽量発泡資材
- ・広島中央エコパークのスラグ・メタルなど



③エネルギーの地産地消の推進

ア 卒FIT電力等の調達と活用

東広島スマートエネルギー(株)による卒FIT電力等の活用

再生可能エネルギー買取制度の買取期間 (10 年間) が終了した電力等を市有施設等へ電力供給することで、市内の再生可能エネルギーを有効活用する。

卒FIT電力の寄付制度を活用し、寄付電力量に応じて地元産品を返礼することで、再生可能エネルギー由来の電力の確保と市内経済の好循環を図る。



事業の概要

2 脱炭素化の推進と地域のレジリエンス強化 (32,409 千円(前年度 20,700 千円))

(1)脱炭素化等の支援 (32,409 千円(前年度 20,700 千円))

【新】①スマートオフィス・スマートファクトリー化の推進(うち 14,309 千円)

産業部門、業務その他部門の中小企業を中心に CO₂ 排出量の削減を推進するため、省エネアドバイス、省エネ診断、省エネ技術提供、設備改修等に係る補助金申請等を行う業務のほか、脱炭素化に向けた企業ニーズ等の把握業務を委託する。

対象	算定基礎	事業費見込額
CO ₂ 排出量の削減に向けた中小企業への相談支援業務	357,720 円×40 か所	14,308,800 円

事業にエントリーする産業部門、業務その他部門の事業者には、COOL CHOICE、SDGs 未来都市東広島推進パートナー制度への賛同を要請する。

(生産性革命推進事業や生産性向上特別措置法に基づく事業とも連携して実施)

【新】②EV 急速充電器の導入支援 (うち 2,500 千円)

EV、PHEV等の普及促進のため、市内商業施設等へのEV急速充電器のインフラ整備の支援を行う。

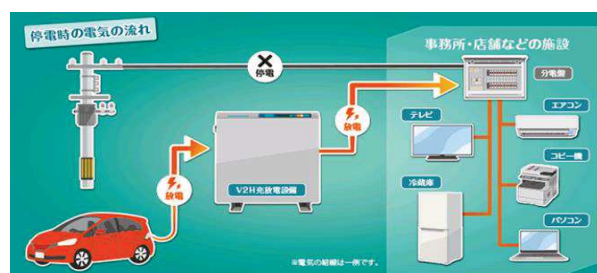
補助対象	算定基礎	補助見込額
EV充電器導入支援	500,000 円×5 か所	2,500,000 円

国のEV充電器導入補助金の活用を前提とし、50万円を上限(補助率1/2以内)とする。

③地域のレジリエンス強化 (スマートハウス化支援) (うち 15,600 千円)

補助対象	算定基礎	補助見込額
定置用リチウムイオン蓄電システム(蓄電池LiB)	100,000 円×150 件	15,000,000 円
家庭用燃料電池システム (エネファーム)	80,000 円×5 件	400,000 円
電気自動車充電設備 (V2H)	100,000 円×2 件	200,000 円

蓄電池は、5kWh未满是8万円、7kWh未满是10万円、7kWh以上は12万円の補助限度額(補助率1/10以内)とする。



イメージ：一般社団法人 次世代自動車振興センター

④自立分散型のエネルギーの利用の推進

ESCO事業による自立分散型エネルギー利用の推進

○安芸津中学校体育館

避難所として災害時に自立して稼働し、事業継続性の向上及びレジリエンス強化に寄与するシステムを導入する。

事業費 109,100 千円

事業の概要

3 S-TOWNプロジェクトの推進（11,822 千円(前年度 18,344 千円)）

(1) S-TOWNプロジェクトの推進（11,822 千円(前年度 18,344 千円)）

① S-TOWN プロジェクトチームの会議等の開催(うち 2,399 千円)

産学官民が連携するプロジェクトチーム会議を開催し、地域課題等を解決し、実現可能な事業を検討する。

【新】 ○主な新規検討項目

目指す姿	プロジェクト	項目	概要
地域のレジリエンス強化	S	地域マイクログリッドの構築	災害時のレジリエンス強化のための地域マイクログリッドの構築を目指し、大学、民間研究機関等とともに実証に向けた協議を推進する。
脱炭素化の推進	S	営農型太陽光発電設備等の普及	作物の販売収入に加え、売電による収入や発電電力の自家利用により、農業者の収入拡大による農業経営のさらなる規模拡大等を目指す。
環境スタイルの提唱	T	環境学習支援プログラムの推進	小中学生にタブレット端末が配布されることから、自主的に環境について学ぶことができるよう、環境学習支援プログラムの開発を目指す。
先端技術の実証・活用	O	広島中央エコパークをフィールドとした実証実験	産学官の共同連携により、廃棄物からのエネルギー抽出の検討や、N（窒素）濃度の低下等に寄与するフィールド実験等の協議を推進する。
先端技術の実証・活用	O	カーボンリサイクル技術の研究等	カーボンリサイクル技術の研究・開発に向けた推進組織による地域経済の発展につながる構想の作成や、拠点化を促進する取組み等を検討する。
脱炭素化の推進 エネルギーの地産地消費 ゼロエミッションの推進	W	市民主体の里山活用	市民が主体的に行う森林整備や、環境教育、ヘルスケア、獣害対策等の副次的効果を期待し、新たな発想に基づく、森林資源の有効活用・空間利用を推進するとともに、薪・ペレットストーブの導入支援や、地域材の活用、林地貸付け等による「小さな循環」としての森林保全に取り組むことで、地域内循環を促進する。
脱炭素化の推進 先端技術の実証・活用	N	ブロックチェーン技術等の活用	卒FIT電力の活用等を目指し、ブロックチェーン等の技術を活用する取組みを目指す。

②環境保全意識の醸成（うち 7,498 千円）

- ・SDGs×「COOL CHOICE」の啓発
- ・ひがしひろしま環境フェアの活動支援
- ・地球温暖化対策地域協議会の活動支援

③次世代自動車の普及促進（うち 1,925 千円）

- ・電気自動車及びEV充電器の保守管理

次世代自動車である電気自動車、燃料電池車等の普及促進のため、市民に対する次世代自動車の普及啓発を推進する。

事業の概要

用語解説

用語	解説
E S C O 事業	エネルギーサービスカンパニーの略で、省エネ効果の高い設備で高効率化等を図り、光熱費の削減を進めていく事業のこと。
カーボンリサイクル	CO ₂ (二酸化炭素)を炭素資源と捉えて回収し、再利用すること。
卒 F I T	2009 年にはじまった余剰電力買取制度(2012 年に FIT(固定価格買取制度)に移行)による電力の買取期間が満了した太陽光発電のこと。
ブロックチェーン	ネットワークに接続した複数のコンピューターによりデータを共有することで、データの対改ざん性・透明性を実現することであり、主に仮想通貨等に利用されている技術のこと。
マイクログリッド	災害時にも地域の再生可能エネルギー等の自立的な電源の活用を可能にするよう、蓄電池等の調整力を付加した配電網等による電力供給網をいう。
レジリエンス	外から加えられたリスクやストレス（「外力」という。）に対して対応しうる能力、災害外力による人的・経済的・社会的被害を最小化しうる能力をいう。

令和 3 年度 目的別事業群総括管理（ 予算 ）シート

1 第五次東広島市総合計画に掲げる施策

まちづくり大綱	4 活かづくり	施策	6 未来を感じるプロジェクト挑戦都市
施策の将来の目標像	AIやビッグデータなど、最先端技術を活用し、未来の暮らしを先行実現する「まるごと未来都市」を目指す取組みが積極的に展開されています。		
施策の数値目標	指標	現状値	目標値

2 目的別事業群の概要

目的別事業群名	① 「まるごと未来都市」の形成に向けた取組みの展開	主管部局・所属	政策企画部 情報政策課
関係部局・所属	政策企画部	政策推進監	政策企画部 広報戦略課
	政策企画部	総合政策課	

3 目指す姿と戦略

目指す姿	デジタル化を活用した社会	現状	デジタル化がすすんでいない分野が多い	
	課題	仮説に基づく戦略	寄与度	戦略No.
	市民の暮らし・仕事、地域社会、行政におけるDXが推進されていない	DXの推進による市民の利便性向上	高	1
	まるごと未来都市に向けた機運が醸成されていない	DXの推進に向けた体制整備	中	2
	SDGsの考え方が広まっていない	SDGsの推進	低	3

4 成果指標

成果指標	初期値 (年度)	目標値及び実績値	目標値及び実績値			終期目標値 (年度) 達成率	単位
			R2	R3	R4		
(7) 最先端技術の暮らしへの実装件数	0 (R1)	上段:目標値 中段:実績値 下段:達成率	1	1	1	3 (R5)	件
(4) データ可視化カテゴリ数	20 (R1)		20	40	60	100 (R5)	種
(4) 行政手続のオンライン化	40 (R2)		200	300	400	500 (R5)	件

5 コスト情報

目的別事業群事業費 (千円)	R3 年度	当初予算額		決算額		人件費(千円)
		一般財源		一般財源		
			173,450			
			83,472			
	R2 年度		73,831			
			69,831			

6 戦略を構成する事務事業

(単位:千円)

No.	款項目_事務事業	所属	人役	R2 当初予算額	R3 当初予算額
				R2 決算額	R3 決算額
1-1	2.1.8_DX推進事業	情報政策課	4.7	49,231	79,648
1-2	2.1.2_DXを活用した広報事業	広報戦略課	0.3	3,322	2,178
1-3	2.1.7_自動運転実証実験事業	政策推進監	1.0	8,785	50,220
2-1	2.1.8_DX体制整備事業	情報政策課	0.3	2,178	25,037
2-2	2.1.7_未来都市形成事業	政策推進監	1.0	10,315	6,309
3-1	2.1.7_SDGs促進事業	総合政策課	1.0	0	10,058
			8.3	73,831	173,450

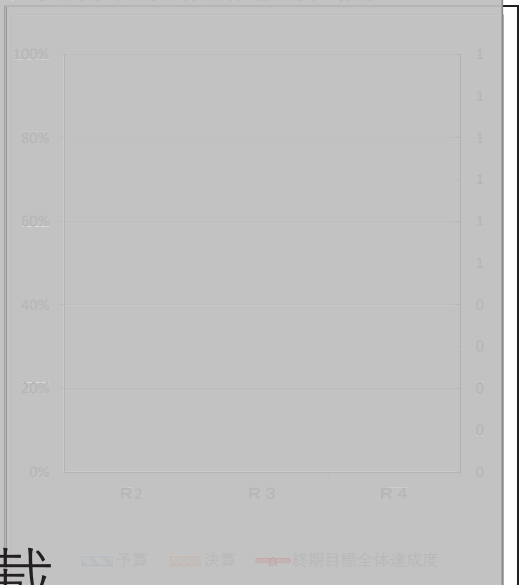
7 成果指標の分析

達成率		
-----	--	--

8 取組の分析

区分	分析ポイント	概要
目的	取組の目的・対象・手段の設定は、社会のニーズ等を踏まえ適切であったのか。	
効果	投入資源量、実施主体等を踏まえ、最も経済的・効率的な手段であったのか。	
外的要因	外的な要因による影響はあったのか。	

<事業費・終期目標全体達成度の推移>



決算時記載

9 総合評価

総合評価	理由

10 今後の課題及び取組方針

課題	課題を踏まえた今後の取組方針

概要シート

まちづくり大綱	施策	目的別事業群
4 活力づくり	未来を感じるプロジェクト挑戦都市	「まるごと未来都市」の形成に向けた取組みの展開

事業の概要

1 DXの推進による市民の利便性向上 (132,046 千円(前年度 61,338 千円))

(1)DXの推進 (79,648 千円(前年度 49,231 千円))

①市民・暮らしDXの推進 (14,900 千円(前年度 0 千円))

ア 教育分野の取組

【新】(ア)教育評価システム実証実験 (うち 5,000 千円)

ブロックチェーンやA I を活用した非認知能力等の情報を管理する実証実験を実施。

【新】(イ)提案募集課題解決事業の実施 (うち 9,900 千円)

本市の課題に対して、I C T等の最新技術を活用した解決に資する取り組みや実証実験を募集する。

②行政DXの推進 (19,457 千円(前年度 21,570 千円))

ア 行政の効率化

【新】(ア)行政手続のワンストップ実証実験業務 (うち 3,465 千円)

転入、死亡等の住民異動の情報を、他の業務への連携する機能について検証する。

③インフラ・基盤DXの推進 (40,979 千円(前年度 20,720 千円))

ア 各分野共通の取組

【拡】(ア) (仮称)市民ポータルサイト(CRM)の運用 (うち 39,979 千円)

インターネットでの手続・通知等のサービスで利用する市民ポータルサイト(市民情報連携基盤)を構築し、市の様々な市民サービスの提供を順次開始する。

開始する市民サービス

- ・市民の属性(学校・大学・地域等)に応じた市からのお知らせ
- ・インターネットによる市への手続、申請、アンケート、報告

イ 地域課題の解決に向けた取組み

【新】(ア)地域エンジニアコミュニティの立ち上げ支援

市民目線での地域課題の解決をめざして、地元のエンジニアや学生を巻き込んだ地域エンジニアコミュニティの結成・立ち上げを支援する。

④データ利活用による政策形成 (4,312 千円(前年度 6,941 千円))

ア データ活用に向けた環境整備

政策形成や事業展開のために、現状を分析し、課題を抽出するとともに様々なデータを横断的に活用するための環境を整備する。

事業の概要

(2)DXを活用した広報 (2,178 千円(前年度 3,322 千円))

①最新技術を活用した広報 (2,178 千円(前年度 3,322 千円))

ア 積極的な市民への情報発信

AI 技術を利用したイベント情報集約サイトや市公式 LINE アカウントにおけるセグメント配信システムを運用する。

(3)自動運転の導入に繋がる実証実験 (50,220 千円(前年度 8,785 千円))

①移動社会への実現に向けた実証実験 (50,220 千円(前年度 8,785 千円))

【拡】ア 自動運転実証実験

官民で組織したコンソーシアムにおいて、自動運転による移動社会の実現を目指した実証実験を行う。

2 DXの推進に向けた体制整備 (31,346 千円(前年度 12,493 千円))

(1)DXの推進に向けた体制整備 (25,037 千円(前年度 2,178 千円))

①DXの体制整備に向けた外部人材の活用 (25,037 千円(前年度 2,178 千円))

【新】ア DX推進プロデューサーの配置

DXに関する助言、関係者との協議等を統括するDX推進プロデューサーを配置する。

【新】イ 外部人材を活用したDX推進チームの配置

業務の現状把握、見直し等を担当する外部人材を登用し、担当課の事務のDXを推進する。

(2)未来都市形成に向けた体制整備 (6,309 千円(前年度 10,315 千円))

①まると未来都市推進協議会の整備・運営 (6,309 千円(前年度 10,315 千円))

【新】ア まると未来都市推進協議会運営

まると未来都市を推進するため、パートナー企業との協議会の発展的な運営への効果的な支援を受ける。

【新】3 **SDGsの推進** (10,058 千円(前年度 0 千円))

(1)SDGsの促進 (10,058 千円(前年度 0 千円))

①SDGsの促進 (10,058 千円(前年度 0 千円))

SDGsの促進に向け、専用サイトの運用、イベントの開催、啓発冊子等を作成する。

